

# 画像診断報告書

患者ID	〇〇〇〇-〇〇〇〇		
患者氏名	〇〇 〇〇様（女）	生年月日	19XX 年 XX 月 XX 日（検査時 78 歳）
臨床診断	めまい症		
検査目的	下記の精査		
臨床情報	ふらつき、頭痛		
部位/モダリティ	頭部／ MR	検査日時	20XX 年 XX 月 XX 日 XX: XX
検査実施 医療機関	〇〇病院	造影剤	none
依頼医/ 依頼科	△△ △△ ／ 神経内科	病棟	外来(紹介)
希望対応	通常		
読影担当医	〇〇 〇〇		
読影所見	<p>左 Meckel 腔が拡大し、腔内に径 12×15mm ほどの T1 強調像で灰白質と同定度の信号の mass を認めます。T2 強調像では辺縁が非常に高信号、中心部分は淡く高信号で、その間は低信号を呈しているようですが、辺縁は脳脊髄液と区別しがたく、どこまで mass かは不明です。</p> <p>拡散強調画像では中心部分は低信号で、その周囲は脳実質と同定度の信号です。三叉神経は mass に連続していくようにみえますが、左側に圧排されているような枝も認めます。Meckel 腔内の腫瘍で神経鞘腫、髄膜腫などを考えますが、臨床症状はいかがでしょうか。神経の走行との関連性や硬膜との関連性も含め、造影 MRI にてご精査ください。</p> <p>脳溝や Sylvius 裂の軽度の拡大を認めます。</p> <p>両側内耳道内や小脳橋角部、脳幹、小脳に mass や異常信号は認めません。</p> <p>出血や梗塞などの急性期脳血管病変を疑うような所見は指摘できません。</p> <p>水頭症を疑う脳室拡大は認めません。</p> <p>MRA で明らかな動脈瘤や血管狭窄、閉塞像などは認めません。</p> <p>右後大脳動脈は後交通動脈を介し、内頸動脈から栄養される胎児型(normal variant)です。椎骨動脈は右側優位です。</p> <p>その他、明らかな異常を指摘できません。</p>		
読影診断	左 Meckel 腔内腫瘍: 神経鞘腫、髄膜腫などを考えますが、臨床症状はいかがでしょうか。造影 MRI にてご精査ください。		

